

## ○第2回市史編さん委員会が開かれました

9月26日、第2回常陸大宮市史編さん委員会が開催されました。委員会では、本市の特徴や特筆すべき歴史について6つの部会がそれぞれ報告。その後、全体の共通テーマを検討するための話し合いが行われました。特に、河川や山林などを利用した文化・産業や周辺地域との関係性について、多くの議論が交わされました。

また市史編さん事業をアピールするため、市の歴史を題材にした講演会や動植物の観察会など、子どもからお年寄りまで参加できるような事業を実施してはどうかという提案もありました。具体的にどのような事業を開催するかは、来年以降のお楽しみです。市民の皆さんにも市史編さん事業に参加してもらい、多くの方に親しまれる「常陸大宮市史」をめざします。

## ○今後の市史編さんだより

今回で第3回を迎えた「市史編さんだより」。次回からは、市史編さんの中心となる各部会長が、自己紹介を兼ねた一文を書く予定です。“常陸大宮市”の知られざる一面を紹介してもらえるかもしれません。

また前回掲載した、身のまわりや地域にある歴史や文化について、引き続き情報の提供をお願いします。古くから伝わる言い伝えや古文書など、心当たりがある方は下記までご連絡ください。よろしくお願いします。

部 会	部会長	所 属
考古	鈴木 素行	日本考古学協会
古代・中世史	高橋 修	茨城大学
近世史	添田 仁	茨城大学
近現代史	佐々木 啓	茨城大学
民俗	大津 忠男	茨城県立歴史館
自然	桐原 幸一	茨城生物の会

▲市史編さん委員会各部会長一覧

■問い合わせ■ 歴史文化振興室 ☎52 - 1450

# 地域おこし協力隊

No.7

がゆく

地域おこし協力隊の岩崎です。

私は、3年に1度開催の伝統行事「西塩子の回り舞台」に、8月末からガイド資料の制作として関わりました。この行事は、舞台を作る過程を含め約2か月間楽しむことができます。

公演前の10月9日には、回り舞台見学ツアーが行われました。舞台

の見学の後、自分が作成した資料をもとに、緒川総合センターで回り舞台の特徴などを解説しました。



▲回り舞台の特徴を参加者に解説

また10月15日の本公演でも、会場内を回りながら解説を行いました。本公演の来場者は約5,000人でしたが、公演翌日も多くの見学者が来ていて、皆さん熱心に見学していました。

私は、ここにしかない魅力たっぷりのこの舞台を、県内外を問わず多くの方に知って欲しいと思いました。そのためにも、情報発信担当として情報を工夫して発信していく必要があるのではないかと強く感じました。

地域おこし協力隊HP「ごじゃっぺらライフ」へ

GO➡

